

発達心理学概論 [特論]

第V章 第1講

人間発達の可塑性

ことばが遅滞するとき

-養育放棄の中でのことばの育ち-

内田 伸子

(お茶の水女子大学 発達心理学)

子どもたちの今

- (1) 不登校やひきこもり，学級崩壊，フリーター
- (2) 少年犯罪の低年齢化
 - ①母子密着 \longleftrightarrow 父親不在
 - ②偏差値高い
 - ③自尊感情の低さ \longrightarrow 社会的孤立
- (3) 過保護の親：子どもの自律性を無視
親自身が孤立し強度のストレス
早期教育、虐待

リスク社会の予兆

1. **コミュニティ(地域生活共同体)**が家族を守っていた

2. 「**共食**」;食卓を囲んでの団欒は(昭和30年代までは)あたりまえの風景だった。

⇔**家族の絆、命をつなぐ、食文化を伝承する**

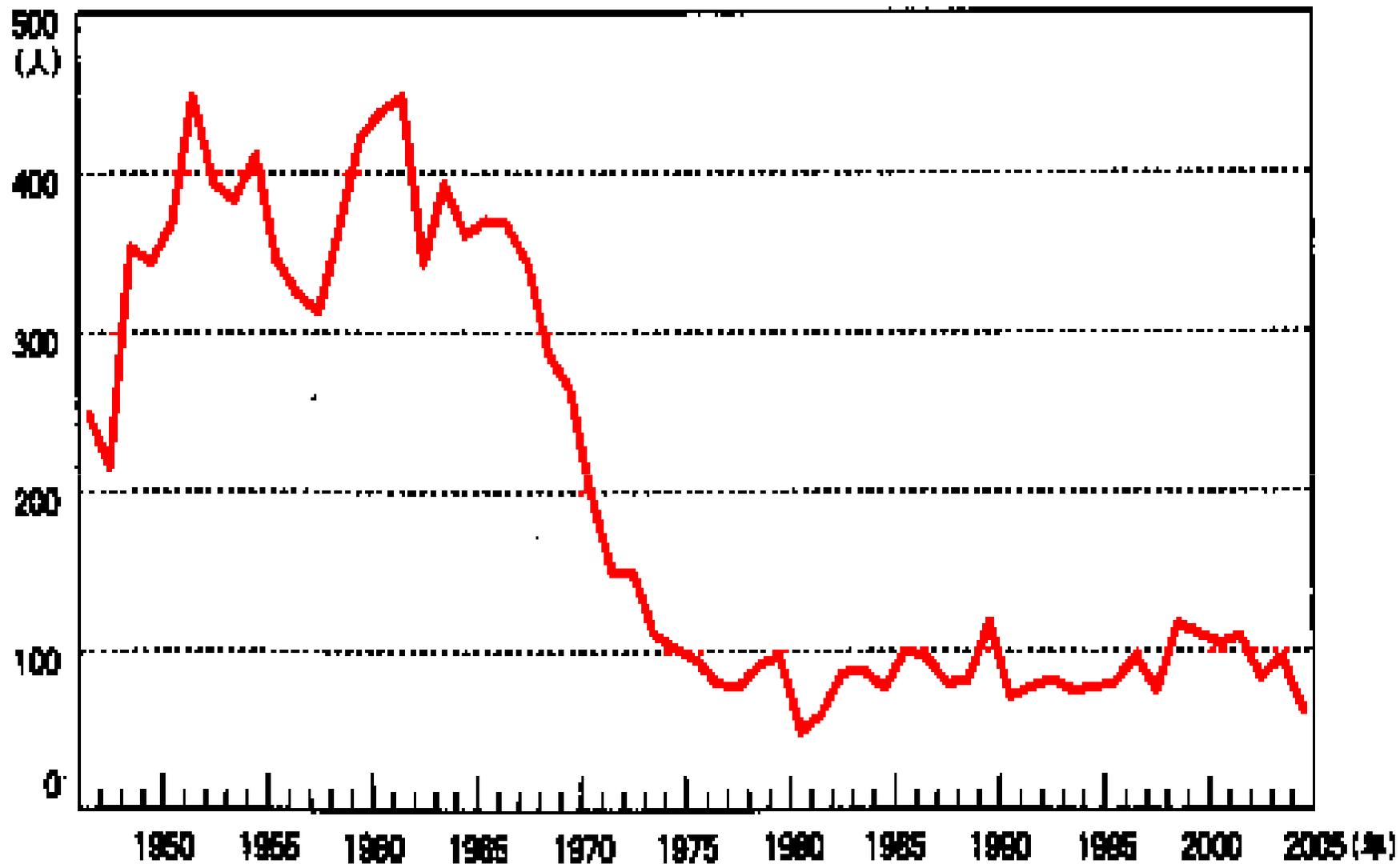
3. 高度経済成長の中で暮らしが変わり始めた！

1982年(NHK・女子栄養大学)

子どもの**個食**⇒**孤食**がマスコミでとりあげられる

⇔**リスク社会到来の予兆**

言い知れぬ不安⇒「**モラルパニック現象**」

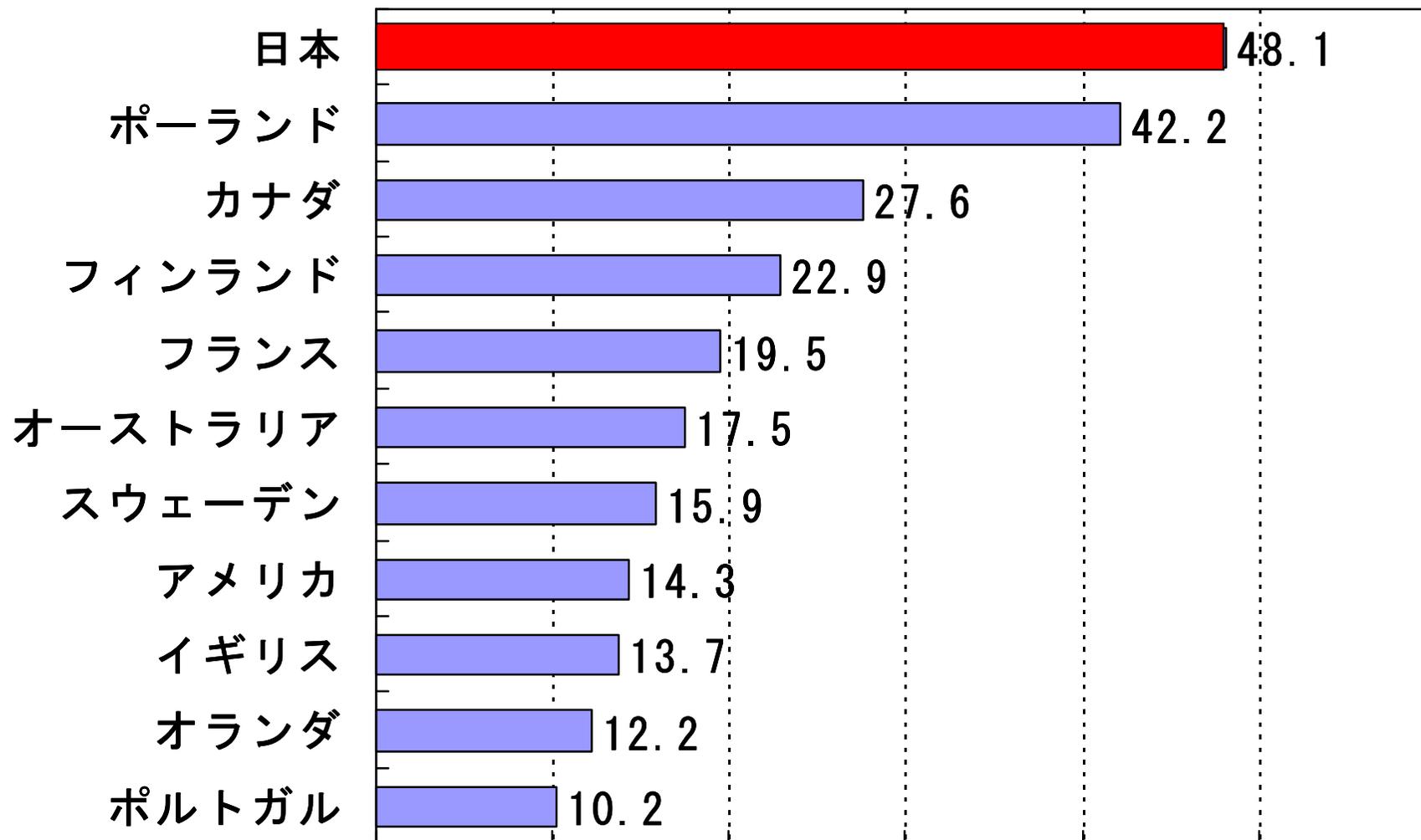
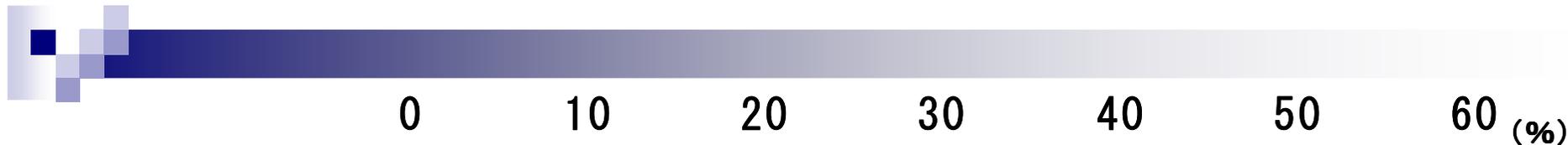


少年殺人犯の検挙人員
(「平成17年版 犯罪白書」から)

モラル・パニック現象

- 量的にも質的にも少年犯罪は悪化したわけではない。社会の側で現実存在するリスク以上のリスクを人々が強く感じ危機感を抱く「モラル・パニック」現象が生じているのである。（浜井，2000）
- 変化があったとするならば、それは少年犯罪の側ではなく少年犯罪に対する社会の側である。

⇔過剰反応～厳罰主義へ



少年犯罪防止策としての厳罰化

「犯罪に対する刑を重くする 刑罰を厳しくする」を選択した比率を示したものである。(「国際犯罪被害調査(ICVS)に見るわが国の治安」から)

モラル・パニック現象

- 量的にも質的にも少年犯罪は悪化したわけではない
⇔少年犯罪に対する社会の側の不安の増大。

⇔ **コミュニティ（生活共同体）の崩壊**

★1988年頃から人々のが絆断ち切られた

◆コンビニ・お弁当屋さん⇔「一人食べ」

◆塾と学校のダブルスクール

◆0歳児保育所・駅前保育所

★教育・保育・しつけまで アウトソーシング!

★親自身が孤立⇒虐待や育児不安・早期教育

児童虐待の相談処理件数



(厚生労働省, 2009)

児童虐待最多4万2662件

全国の児童相談所が08年度に対応した児童虐待は、過去最多の4万2662件(速報値)によると、厚生労働省が14日、発表した。前年度より2023件増えた。子どもの安全確認のため、児童相談所は08年度から強制的に立ち入り調査できるようになったが、実施は2件にとどまった。児童虐待の件数は、統計をとり始めた90年度から連続して増え続け、10年前の約6倍に。厚生労働省虐待防止対策室は「虐待そのものが増加しているほか、虐待に対する認識が高ま

08年度 児童相談所対応分

り、通報や相談が増えている」とみている。また、07年1月～08年3月に虐待によって死亡したのは、115件142人。心中・心中未遂を除く73件78人のうち、0歳児が5割弱を占めた。母親に相談相手がいなくて孤立していたり、精神的問題を抱えていたりするケースが目立った。73件のうち、児童相談所がかかわっていたのは15件(20.5%)。市町村や病院など関係機関が虐待として対応していたのは6件(8.2%)、

関係機関との接点があったが虐待を認識していなかったのは22件(30.1%)で、割合は06年の調査と比べてそれぞれ2.6割減、0.5割増、16.1割減だった。関係機関との接点がなかったのは13件(17.8%)で、6.3割上昇した。昨年4月の改正児童虐待防止法施行により、虐待が疑われる親が知事からの2度の出頭要求に応じない場合、相談所が裁判所から許可状を取れば、警察の援助を受けて強制的に立ち入り調査できるようになった。強制的な立ち入り調査を実施したのは2自治体2件で、子ども計4人を一時保護した。(高橋福子)

「虐待」の**予兆**

「早期教育」の過熱への**警鐘**

(1)「NHKニュース21」 1993年

★これから急増に向かう**予兆**

●「**虐待**」の本質が捉えられている。

(2)NHKスペシャル 1996年

★早期教育の過熱への**警鐘**

虐待

(1) 身体的暴行

(2) **ネグレクト** (養育怠慢・養育拒否)

40%

(3) 性的暴行 (近親姦)

(4) 心理的虐待

(ことばによる痛めつけ・極端な無視)



本を読みたい。電話もしたい。

**「私は眠い。本を読みたい。電話もしたい。
そういうときに限って子どもは私の言うことに
従ってくれない。子どもがいるから自分の
したいことをできないと思うと、とてもイライラ
する」**

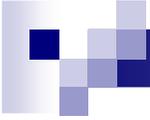
(29歳, 専業主婦, 妊娠9ヶ月, 男児2歳)



食事もお風呂もゆっつきりできない

**「この子が生まれてから食事もお風呂も
トイレもゆっつきりできない生活がずっと続いて
います。この状態が永久に続くように思えて、
この先、子どもに何をしてしまうかわからない
恐怖があります」**

(28歳, 専業主婦, 女兒10ヶ月)



気がつくとも子どもの首に手をかけていることがある

「母親はどんな時でも子どもはかわいいはずだと思っていました。周りからもそう言われ自分もそう思っていました。でも現実には180度違っていました。子どもが泣きやまない。特に半年頃までは、なぜ泣いているのかもわからない。そんなとき、気がつくとも子どもの首に手をかけていることがありました」

(24歳, 専業主婦, 男児3歳)

「虐待」⇒親の問題

1.母親が父親に不満を抱く

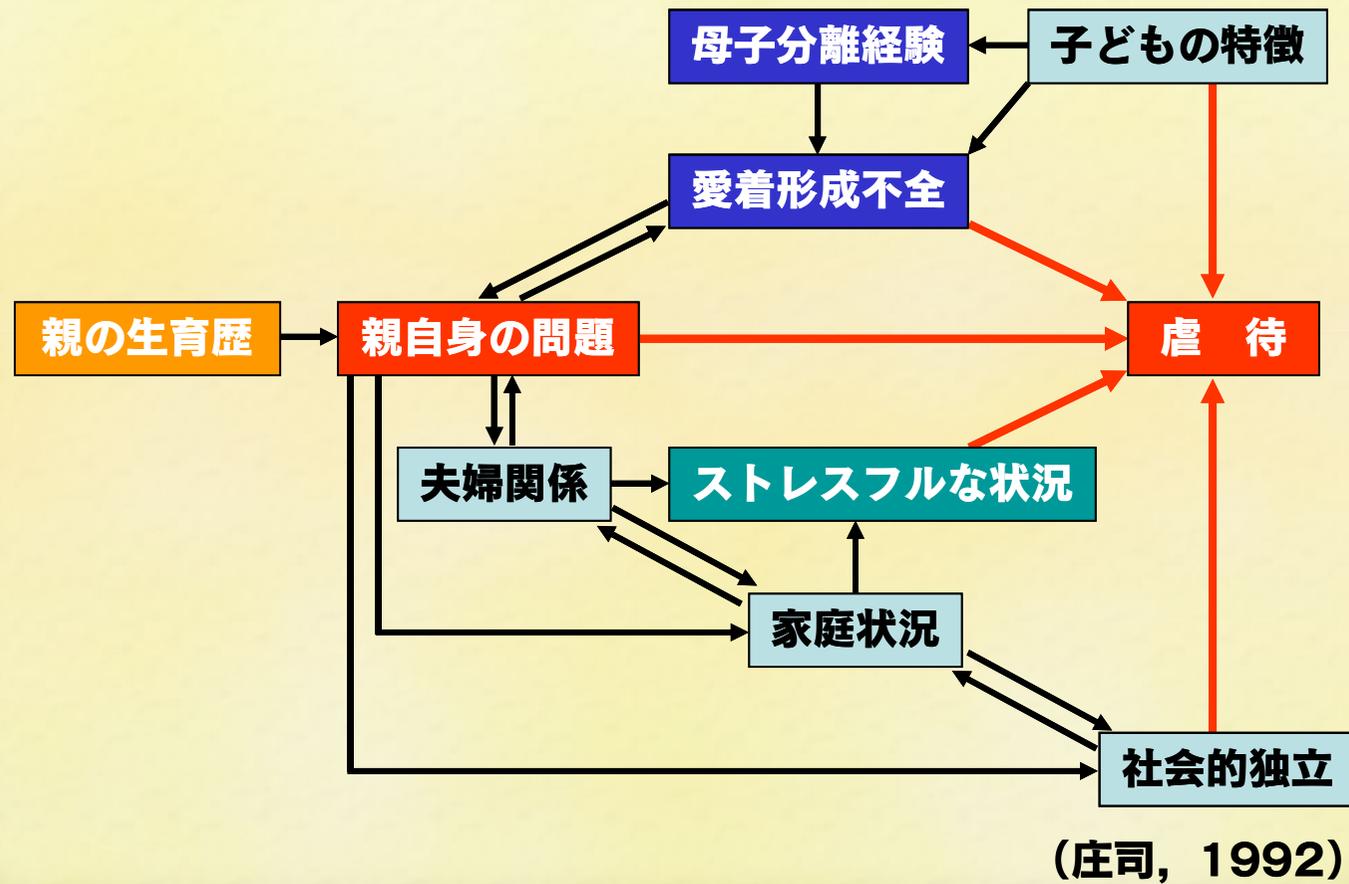
2.父 — 母 — 子の三角関係

3.未婚で出産

4.育児不安 [高学歴の専業主婦]

⇔育児の理想とのギャップに基づく不安

虐待の発生要因 (テキストp.126)

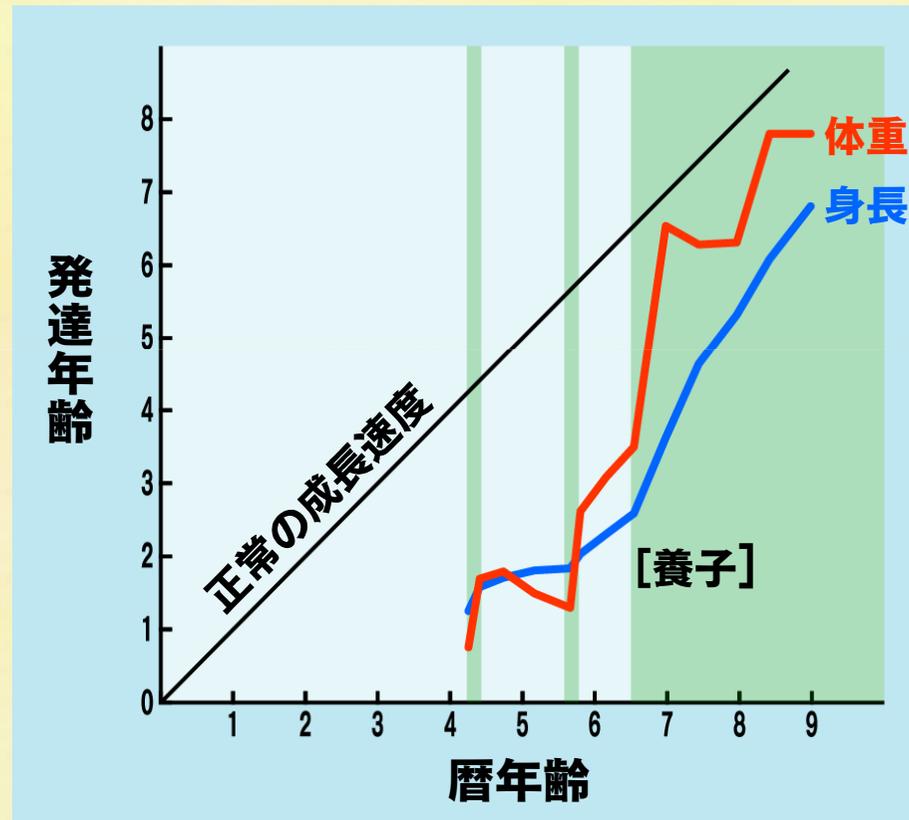


虐待を受けると？

極端な発達遅滞

1. からだが小さい
2. ことばや知能の遅滞
3. 幼形性 (neonate)

心理・社会的侏儒症 (PSD)



(Hopwood & Becker, 1980)

心理・社会的侏儒症(PSD)

(1) ストレスと成長ホルモン

(2) 分子レベル

ストレス耐性;ステリルグリコシド(SG)

小さなストレスで耐性をつけるとコレステリルグリコシドが作られ、最後には**ストレスたんぱく質**を体内に蓄えることができる⇔ストレスに耐えて成長
(室伏,2003)

★「母子分離」～

「母子相互作用」の質(正負)

早期離乳ストレス

研究室内で繁殖させた、バルブC種 マウス

- ・固形飼料を
食べ始める
- ・体温調節可能



生後(週) 0 1 2 3 4

21日齢

通常離乳群
(Normal)



離乳

早期離乳群
(Early)



14日齢

早期離乳ストレス：

母性行動の低下、攻撃行動の変化、不安行動の増加、自律神経のストレス反応増大、ストレス内分泌の増大

性格における個体差の形成：

脳内の構造的な個体差が原因の一部

早期離乳ストレスによる脳^{の構成成分と}
神経構造^{の変動を}解析する

情動に関わる部位

大脳皮質

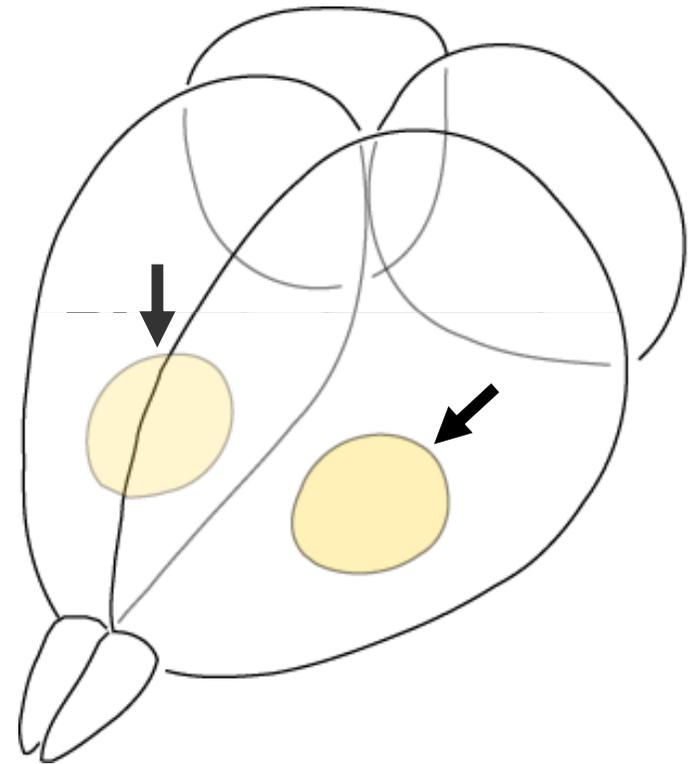
意志、思考を司り、
前頭前野が特に情動に関与

海馬

記憶を司り、学習、
情動に関与

扁桃体

情動、価値判断を司る



神経活動が始まると⇔ミエリン化

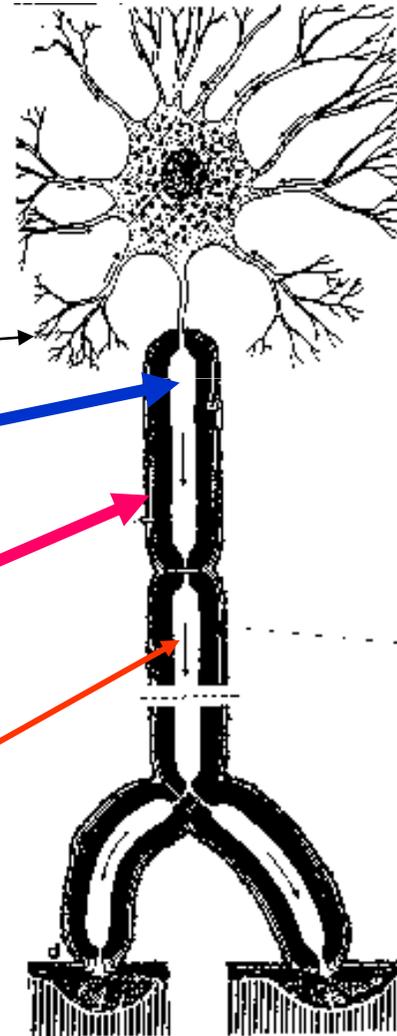
神経細胞

樹状突起
軸索

ミエリン鞘(髄鞘)

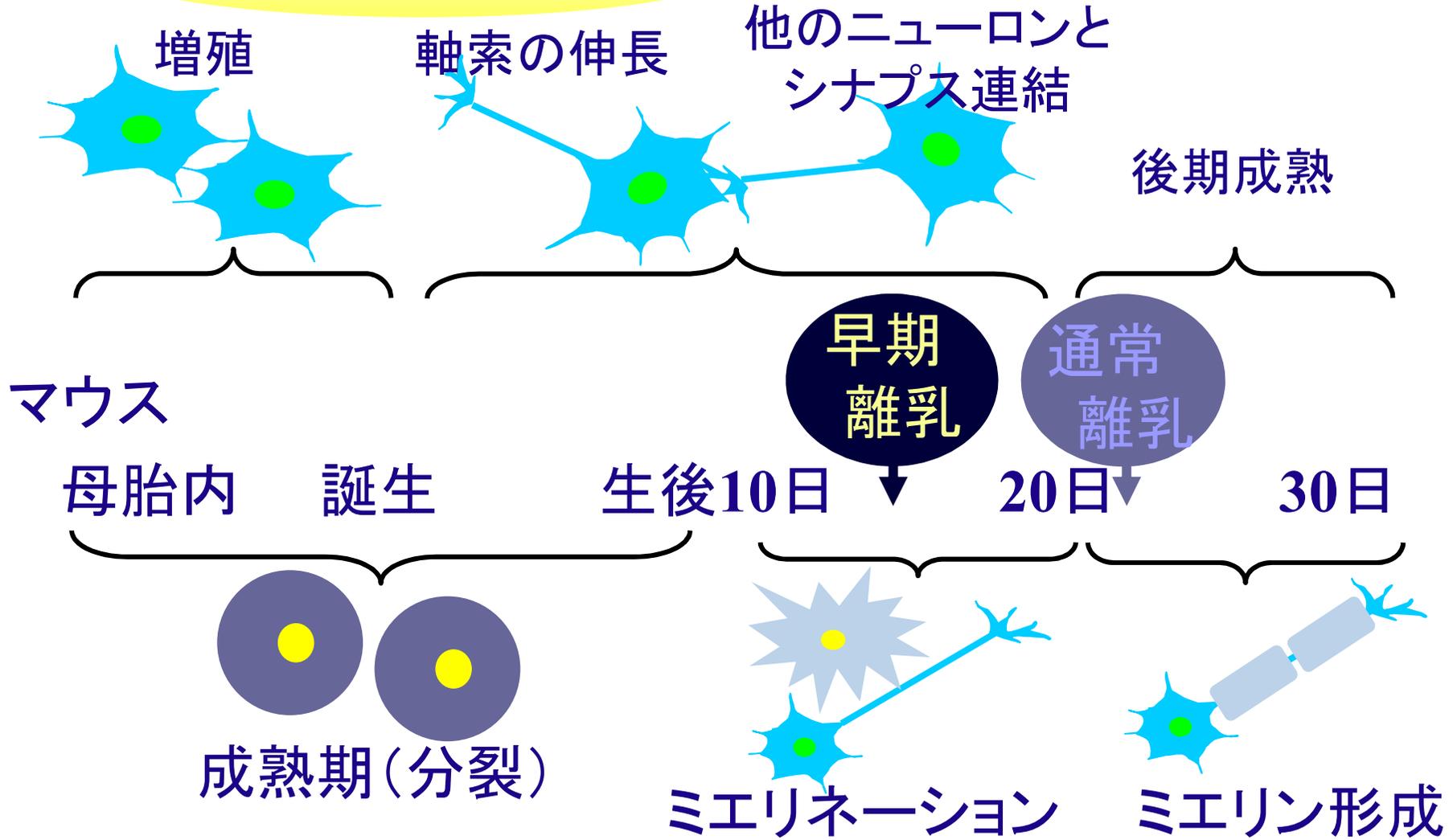
インパルス
(神経衝撃)

⇔インパルスの飛翔伝導



ニューロンの成熟

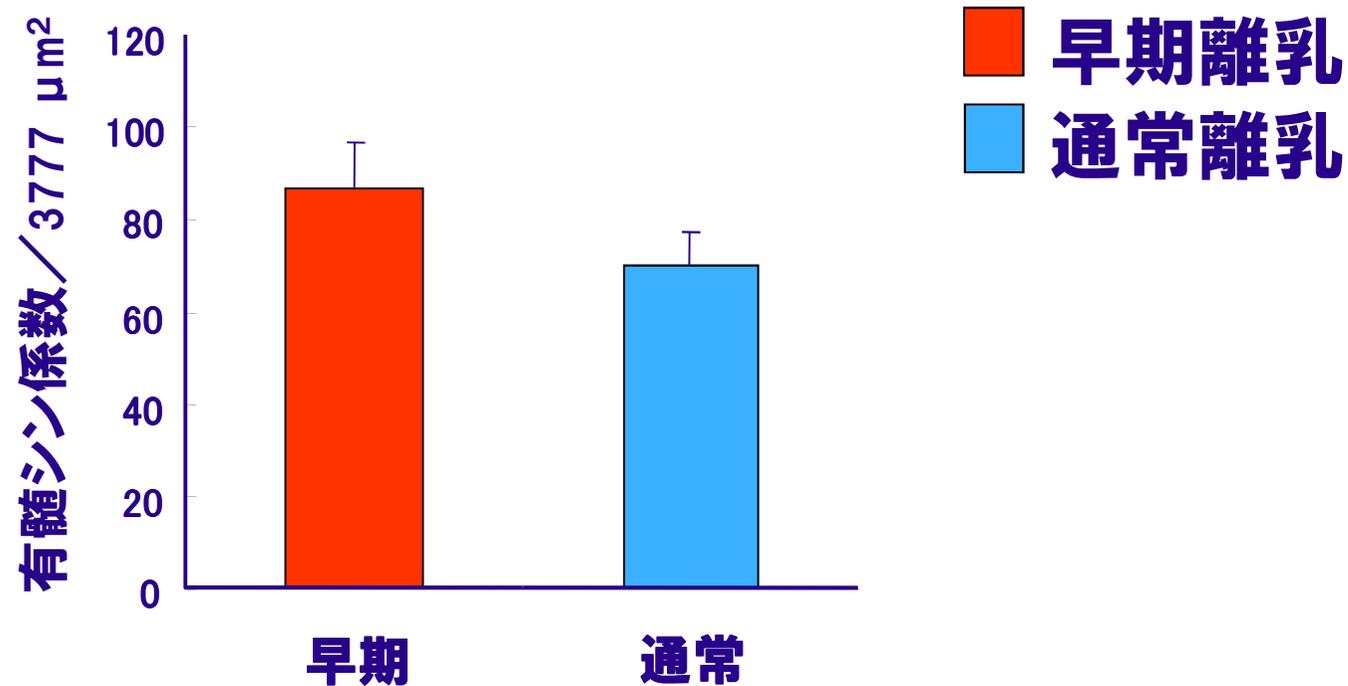
刺激を受けて興奮し、他の細胞に刺激を伝達



オリゴデンドロサイトの成熟

ニューロンの支持とミエリン形成

5週齢マウスのアミグダラ おける有髓神経数



*** 早期離乳群で有髓神経数が増加している傾向がある
(有髓神経: ミエリンの層で周囲を取り巻かれている神経
繊維で、神経伝導が速い)**



早期離乳ストレスを負荷



脳の情動を司る部位である**扁桃体**で
ミエリンの形成が早まる



神経細胞の**軸索**に構造的変化

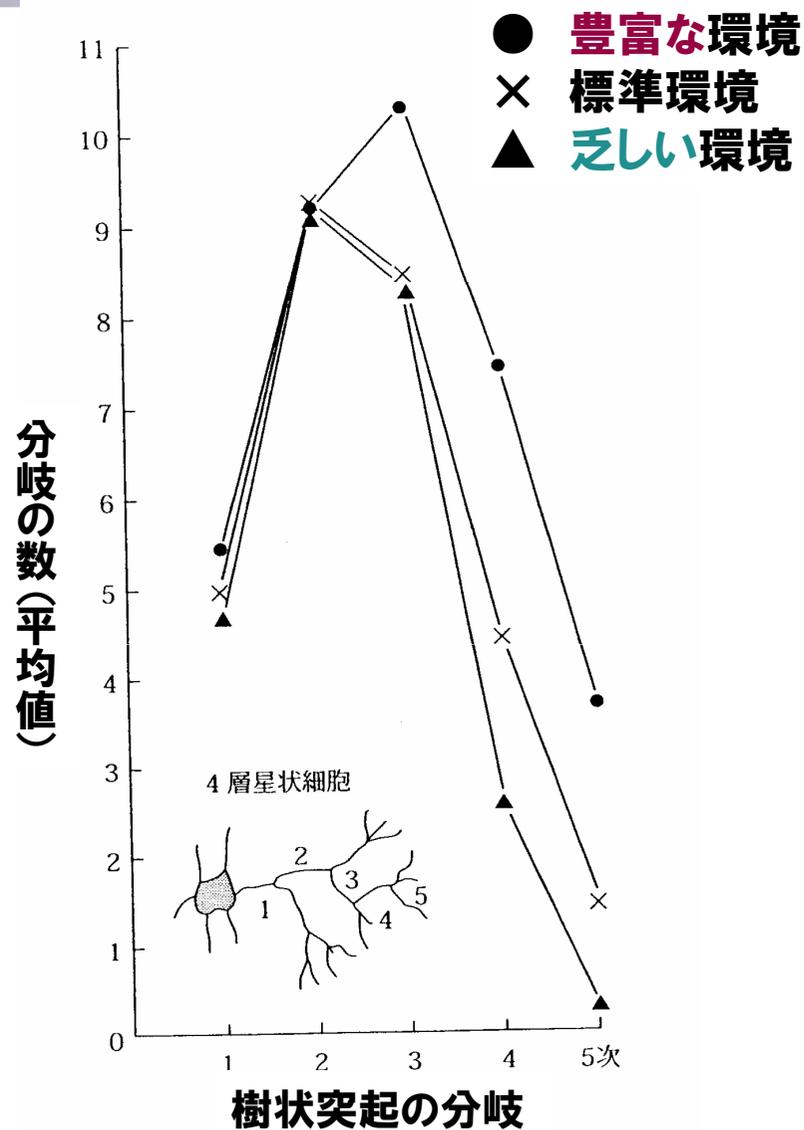
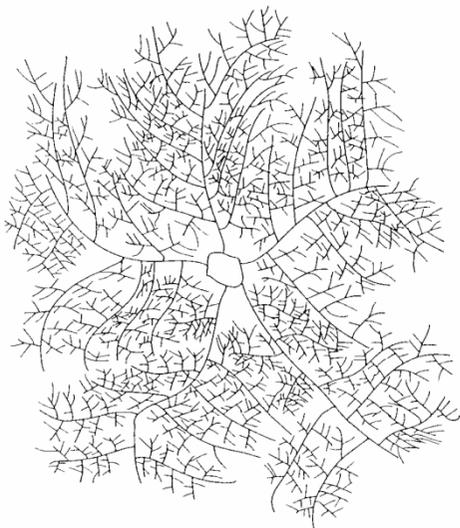


成長後の**情動の表出**に変化
(精神活動の動きが外部に現れる)

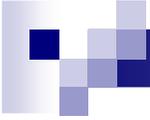
刺激の豊富な環境



刺激の乏しい環境



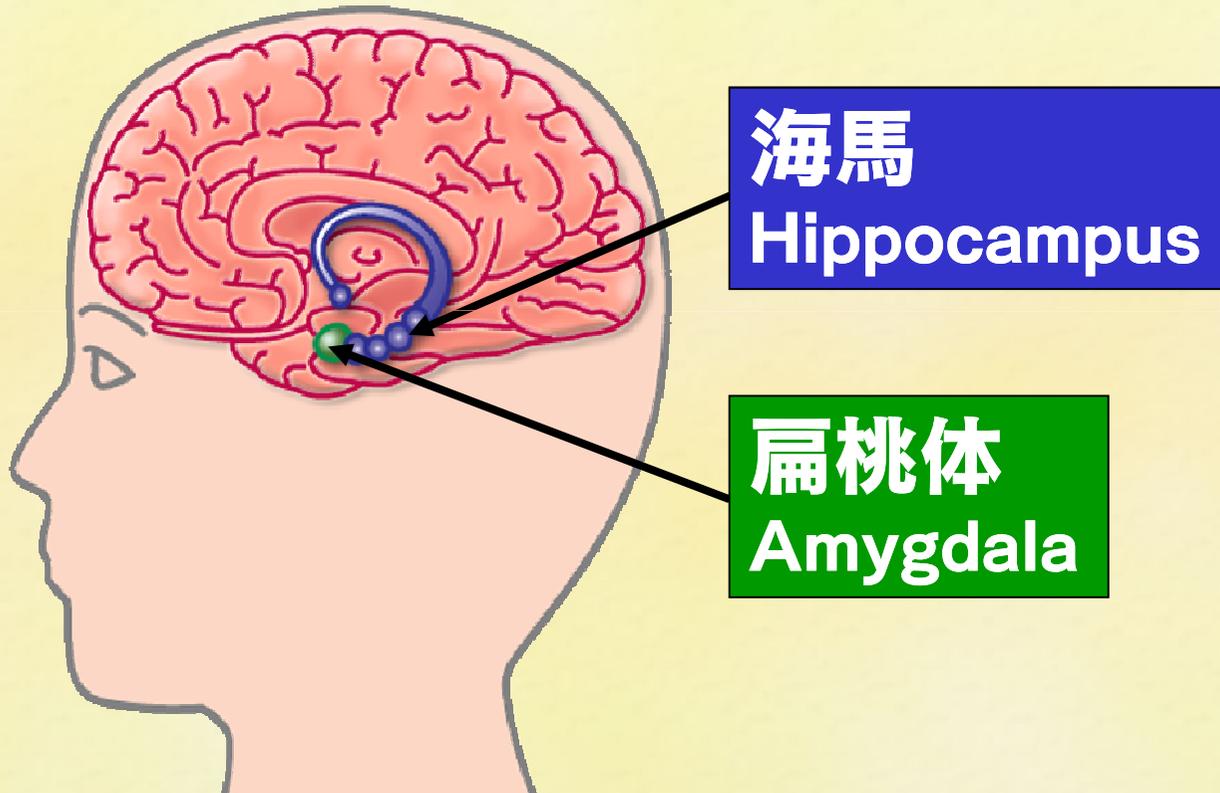
異なった飼育環境による視覚野のニューロンの樹状突起発達の違い



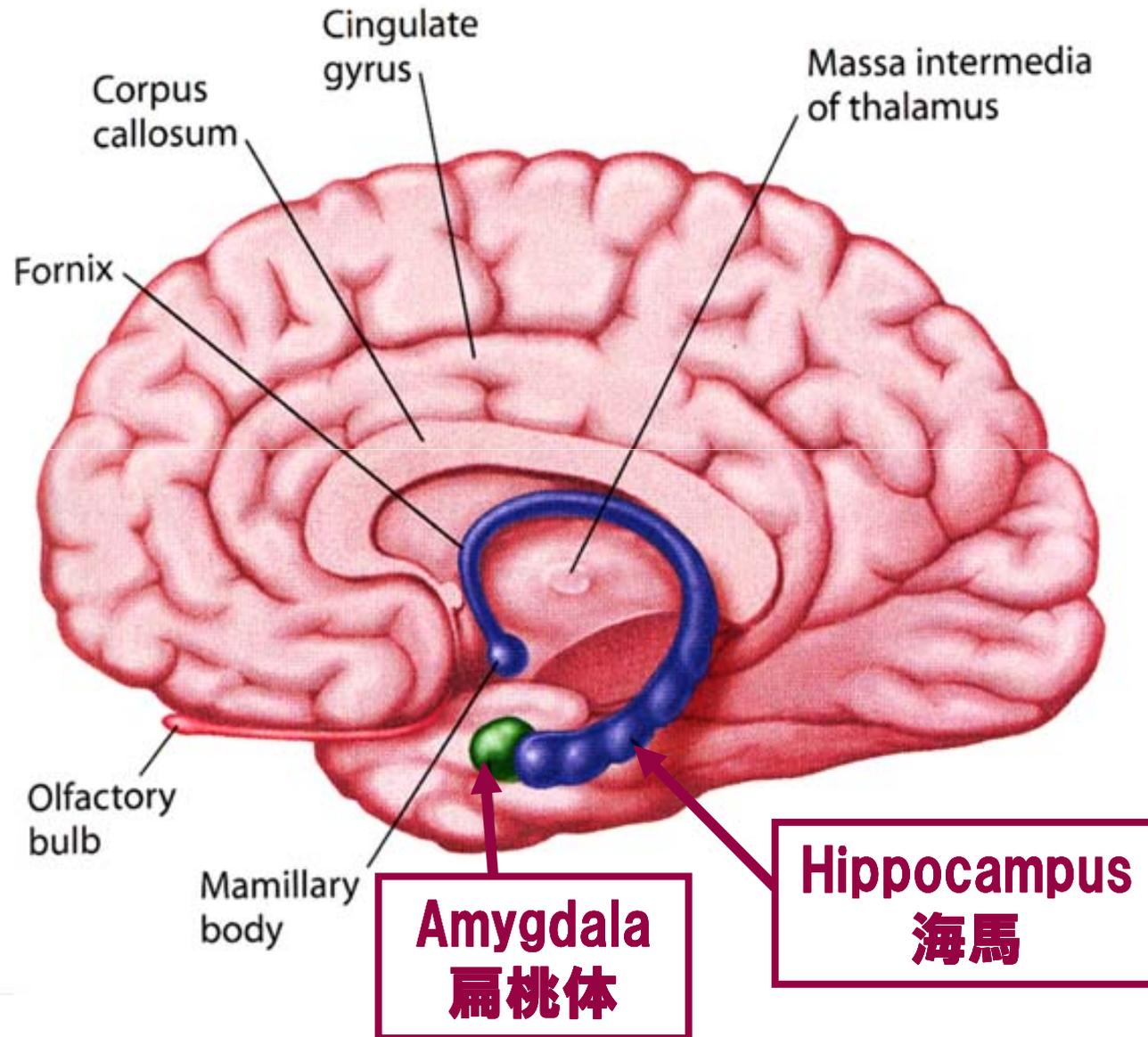
人間が虐待を受けると？

- ★ **大脳辺縁系 12～16%も委縮**
 - 海馬**(エピソード記憶)
 - 扁桃体**(对人的感情)

大腦邊緣系（海馬・扁桃體）

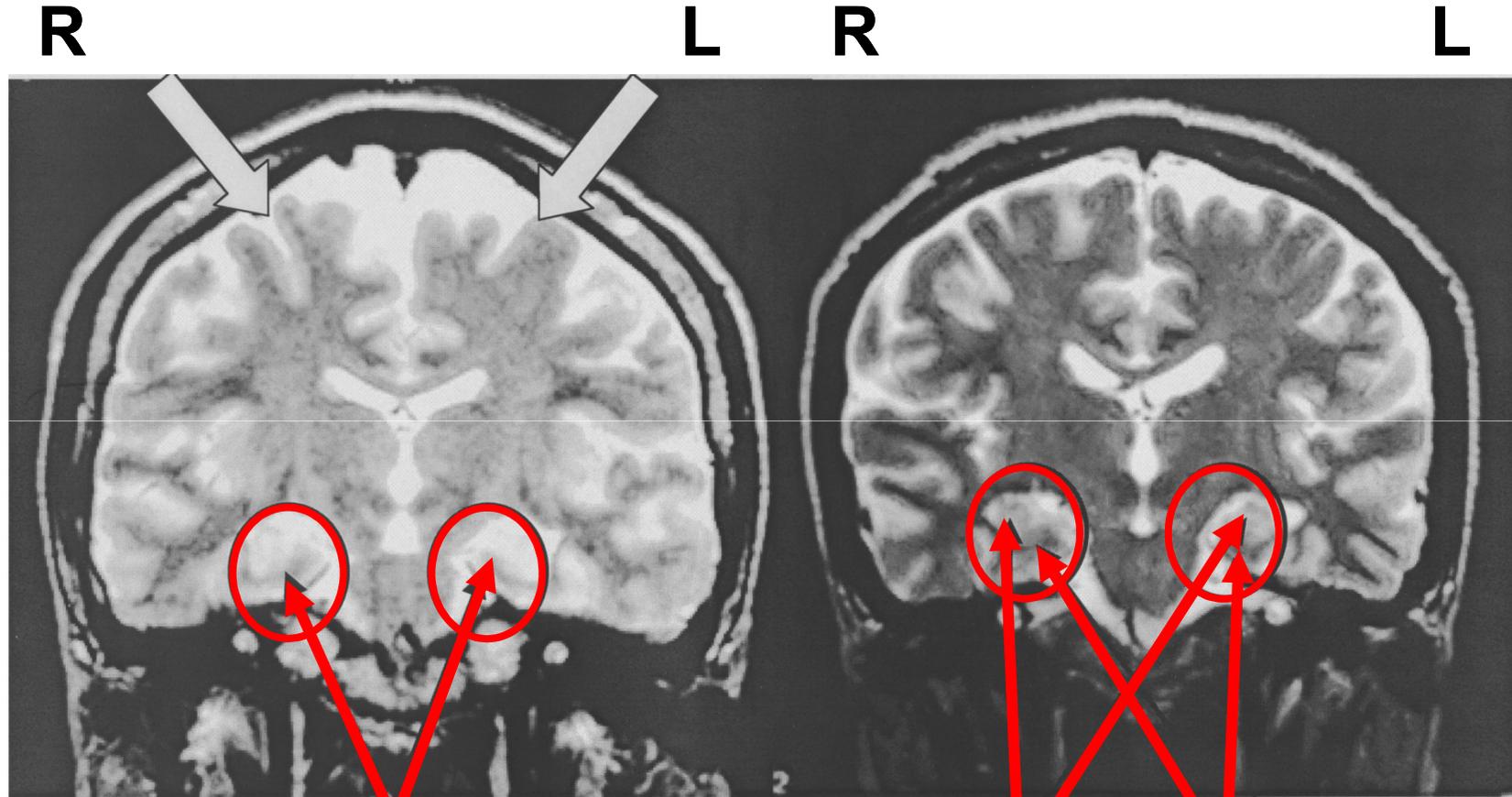


海馬·扁桃體



MRI

近親姦虐待と成人期精神障害
(斎藤・中村・沼田, 2003)



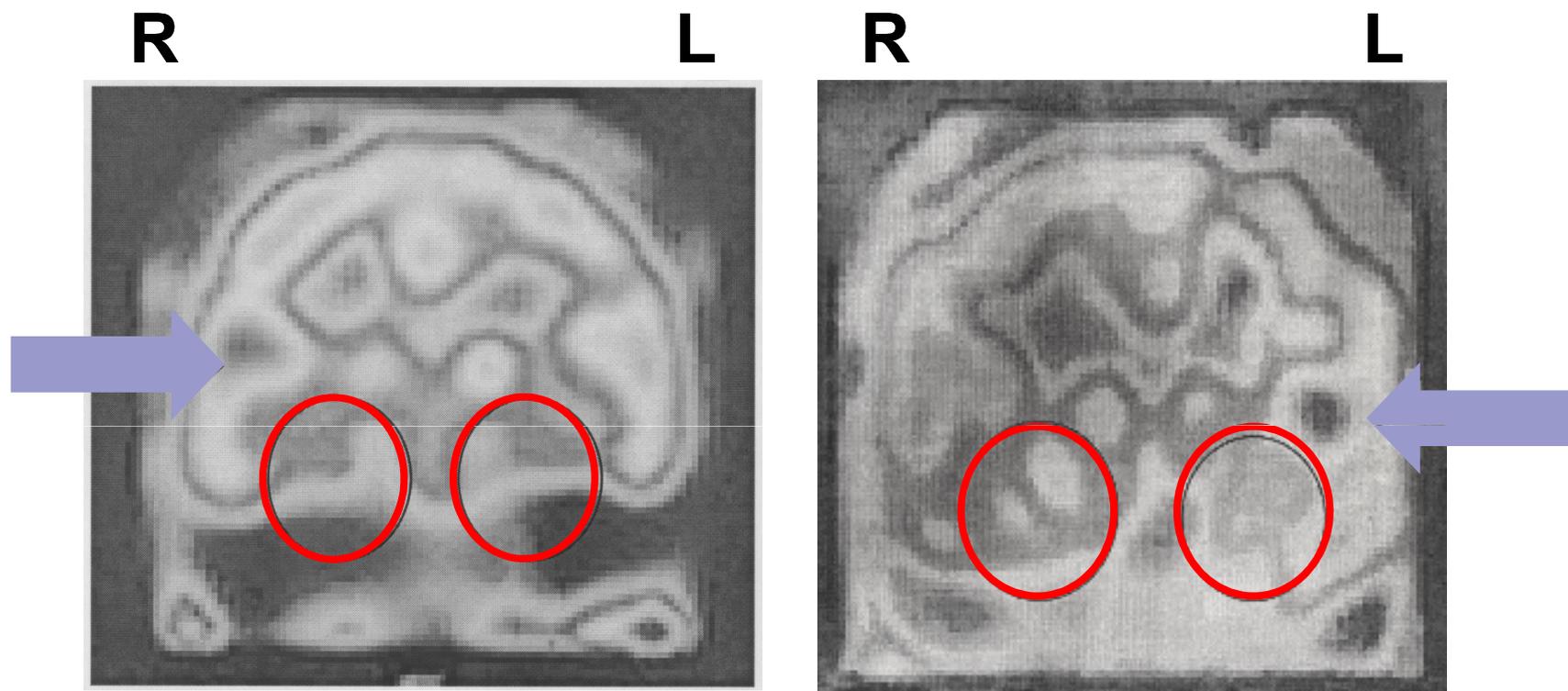
海馬傍回

MRI (Case)

海馬 海馬傍回

MRI (Control)

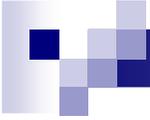
SPECT



SPECT (Case)

SPECT (Control)

(斎藤・中村・田,2003)



次回：人間発達の可塑性

★子への過干渉・力のしつけ
歪んだ生育環境のもとで
心身ともに深く傷つきながらも
見事に立ち直り、発達をとげていく

- (1) 人間の発達はいかに可塑性に富んでいるか
- (2) 子どもの発達に必須なものは何か
- (3) 支援策～防止策へ；子育て機能の再生

